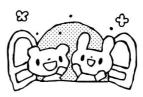
## えんだより

## キラキラ 6月



2020年6月1日 社会福祉法人尚徳福祉会 保土ケ谷保育園

緊急事態宣言が出されて、約2か月。ずっと開園していましたが2割程度の園児数でした。0歳児は4,5名登園していたので、慣らし保育も終わりクラスでゆったり過ごしました。1,2歳児はいつも一緒にいることに慣れ、小さい子を思いやったり、上の子の真似をして大胆な遊びをしたりして過ごしていました。幼児クラスは制作や散歩をたくさん取り入れて、季節を感じられるような活動をしました。年長さんが作り方を教えてくれたり、面倒を見てくれたりと、アットホームな異年齢での活動でした。これから少しずつ、クラスとしての保育ができることを願っています。

新型コロナウイルスは、まだまだ予断を許さない状況が続いていますが、細目な換気や玩具や不特定多数の人が触るところを丁寧に消毒するなど、保育園としてできる限りのことをして、安全に保育ができるよう、努力して参ります。

また、懇談会、英語、お話し会、運動会、おたのしみ会などの様々な行事は、 今後の状況を見て判断していきたいと思います。保育園としてできることを、 子どもたちと共に楽しんでいきたいと思います。そして、この時期に育つ子ども たちの成長を大切に考え、引き続き「質の高い保育」を目指して職員一同頑張 っていきたいと思います。

園長 大日方 直美

## <ミニ畑作り>

幼児クラスがプランターを使って、野菜や花を植えました。ピーマン、人参、おくら、はつか大根、きゅうり、ひまわり。毎日順番に水やりを行い観察して、成長していく 様子を楽しみにしています。

野菜を栽培することも、食育につながります。「食」は子・どもが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくた しめに、また、子どもの健康増進のために重要です。自然の・恵みとしての食材について、生産から消費までの一連の食・の循環や、食べ物を無駄にしないことについての配慮に意 し識を持てるように、そして、生命を大切にする気持ちなど・も育まれていきます。

おいしい野菜がたくさん収穫できるといいですね。

